

読売新聞（湘南）2014年11月9日（日）

南足柄市塚原の「ユートピア農園」で、季節はずれのヒマワリが咲き誇っている〔写真〕。園内ではトウモロコシも実をつけ、夏の雰囲気を漂わせている。代表の古屋富雄さん（62）によると、種をまく時期を遅らせる抑制栽培で、年間を通して安定した農業収益を上げる手法という。ヒマワリ畑は約3000平方㍍で、約80000本が

植えられている。種は9月初めから1週間ずつずらして4回まいた。10月末から順次開花しており、12月初旬まで楽しめるという。トウモロコシは今月末までに約60000本を収穫できる見込みという。

農園では火、土、日曜に農産物を販売しており、ヒマワリは3本100円（税込み）。入園無料。問い合わせは古屋さん（090・7849・9200）へ。

季節はずれヒマワリ咲く

